

新潟県

看護協会だより

ワーク・ライフ・バランスの推進 Series 3

[連載] 地域包括ケア“南魚沼地区”

Vol.142
令和2年
2月20日発行



示説発表の様子

Contents

- 新潟県知事への要望書提出 秋の叙勲 P2
- 職能委員会意見交換会報告 P3
- 新潟県看護協会看護学会 P4~5
- 地域包括ケア P6~7
- 常任委員会報告 P8
- ワーク・ライフ・バランスSeries3 P9
- ナースセンターからのお知らせ P10
- 看護協会からのお知らせコーナー P11~12



令和元年11月29日に新潟県看護協会看護学会が開催されました。

| 新潟県看護協会会員数 | 令和2年2月1日現在 |

■保健師838名 ■助産師628名 ■看護師14,161名 ■准看護師659名 ○会員総数16,286名

知事への

「令和2年度予算に対する要望書」提出について

令和元年12月27日斎藤会長から花角知事に令和2年度の新潟県予算に対する要望書を提出しました。

過密スケジュールにもかかわらず、貴重な時間を確保していただきました。要望事項は以下の通りです。



1 看護職員確保対策

- (1) 県内における特定行為研修機関や、認定看護職員養成機関の設置及び資格取得支援事業の拡充
- (2) 看護基礎教育における実習受け入れ施設の確保及び実習指導者教育の充実
- (3) ナースセンターの機能強化として上越、長岡支所の相談日を増やすことへの支援及び看護職員の動態に関する情報提供

2 在宅医療の推進

- (1) 訪問看護師の確保定着として、新人・新任看護師の教育・研修及び現地指導等の機能を有する機関の設置と訪問看護ステーションへの運営補助
- (2) 県の組織として訪問看護施策を推進するための部署の設置
- (3) 高齢者施設等の看護・介護職への資質向上研修への支援

知事から看護師教育制度の今後の方向性についてご質問があり、看護師基礎教育の充実のため、4年制化が望ましいこととお話ししました。

知事への要望に先立ち、11月7日に藤山福祉保健部長に要望書を手渡した際、藤山福祉保健部長からは県財政が厳しい状況にあるとお話のあと、要望の重要性については理解しているとお言葉をいただきました。協会からは、県の厳しい財政状況の中において、昨年度要望した特定行為に係る資格取得支援が今年度予算化されたことへの感謝と、引き続きのご支援をお願いしました。

令和元年 秋の叙勲受章おめでとうございます。

◆ 瑞宝単光賞受賞 ◆

鈴木 ヒロ子 様 元新潟県立がんセンター新潟病院看護部長

職能委員会 意見交換会報告

保健師職能委員会 保健師職能委員会委員長 星野明子

保健師職能委員会では、職能集会、研修会、情報交換会など会員参加型の事業を実施しています。これらの事業では、単に知識や技術の習得ではなく、どの職場にあっても保健師の機能が発揮できるように保健師のコアとなる活動を伝えることを大切にしています。

この他、保健師職能だよりの発行や支部職能委員会の協力を得て保健師活動実践集を隔年で発行しています。また、令和元年度は、地域包括支援センターの保健師の状況を把握するため、アンケートを実施しました。この結果を踏まえて、新たな取組ができればと思っています。



令和元年11月16日(土)保健師情報交換会「わがまちが被災した時どう動いたか、保健所は被災自治体をどう支援したか」の一コマ

助産師職能委員会 助産師職能委員会委員長 小林正子

安全・安心で満足度の高い妊娠・出産・育児支援の提供、助産師の連携強化と質の高い助産ケアの提供を目標に活動しています。今年度はCLOCMiP更新・申請に向け、「出血時の対応(常位胎盤早期剥離)」、「助産師を育成する支援者の役割」というテーマで、新潟・長岡で研修会を開催しました。産科医師と開業助産師の第一線でご活躍されている講師にご講義いただき、多くの参加者から満足度の高い評価が得られ、助産師の実践能力やモチベーションの向上につながる研修となりました。



看護師職能I委員会

看護師職能I委員会委員長 青木洋子

令和元年11月30日(土)に、「看護補助者と共に作る職場」をテーマに意見交換会を開催しました。講師には、社会医療法人河北医療財団常務理事・看護統括部長の永池京子先生をお呼びし、看護師と看護補助者の位置づけ及び業務内容、責任の範囲、協働する職場づくりについて

ご講演いただきました。午後からはグループワークで明日からできる具体策まで考えました。本研修での学びを生かし、協働して働き続けられる職場環境づくりを期待しております。

看護師職能II委員会

看護師職能II委員会委員長 村川英伸

今年度は11月2日にテーマを「令和時代の多職種連携の創造～これからの地域共生社会を実現するために、看護・介護、専門職等が今からできることは何か～」として、3名のパネリストをお呼びしてのパネルディスカッション形式の講演会とグループワークを実施しました。当日に講師の交代があり予定を変更しての開催でしたが、介護職員を含め26名が参加され、多職種協働による実践報告

や、今後も想定される精神疾患にまつわる貧困・8050問題・ひきこもり等の対応には、さらなる看護職の力が必要など様々な意見をいただきました。会場からは「様々な職種の方の意見が聞けて良かった」「足元をしっかりと固めて活かしたい」などの感想が聞かれ、満足度の高い研修となりました。

パネリスト

社会福祉法人つばめ福祉会・・・総合在宅福祉サービス統括長 介護支援専門員・社会福祉士 池内 明
東 新 潟 病 院・・・療養病床 介護主任 介護福祉士 佐藤 智
社会福祉法人長岡福祉協会・・・高齢者総合ケアセンターこぶし園名誉園長 吉井 靖子

テーマ

「最後まで生きることを諦めない ～今、看護職ができること～」

■日 時■ 2019年11月29日

■場 所■ 朱鷺メッセ

■参加人数■ 738名 [看護職398名
学 生340名]

口演16題・示説16題



斎藤会長あいさつ



示説会場の風景

看護 フォーラム

「口から食べる幸せを守る」～生きることは食べる喜び～

- ◆講 師 NPO法人口から食べる幸せを守る会理事長 小山 珠美
- ◆座 長 新潟県立看護大学准教授 原 等子



新潟県看護協会看護学会シンポジウム「口から食べる幸せを守る～生きることは食べる喜び～」を

聴いて口から食べることの大切さを、再認識しました。患者さんやご家族の、口から食べ続けたいという願いを実現できる看護が、今後私たちに求められていると感じました。

今回の講演を拝聴して、明日からの看護に活かしていきたいと思います。



特別講演

「地域包括ケアシステム推進の鍵はプライマリケア」

- ◆ 講 師 福井大学医学部地域プライマリケア講座教授 井階 友貴
- ◆ 座 長 新潟大学大学院保健学研究科教授 小林 恵子

特別講演「地域包括ケアシステム推進の鍵はプライマリケア」を聴いて住民主体の地域医療づくりのために、沢山の工夫と活動が行われていることを知りました。私たち自身が、患者・家族・地域のためにできることを探していきたいです。



福井県高浜町
マスコットキャラクター
「赤ふん坊や」



地域主体の健康街づくりを目指して、まちづくり系医師兼プロデューサーの井階友貴と共に活動しています。

交流集会 “専門性の高い看護職員育成”新潟モデル開発への取り組み

◆ 発表者

専門性の高い看護職員の育成検討会委員

専門性の高い看護職員の確保・定着・資質向上に向けた新潟県初の取り組みについての報告が行われました。報告をもとに活発な意見交換が行われていました。



新潟県看護協会看護学会を終えて

学会委員長 新潟青陵大学 内藤 守

令和元年11月29日（金）朱鷺メッセにおいて、新潟県看護協会看護学会が開催されました。当日は、天候も荒れることなく、大変多くの方にご参加いただき誠にありがとうございました。

学会テーマを『最後まで生きることを諦めない～今、看護職ができること～』とし、看護フォーラムでは小山珠美先生、特別講演では井階友貴先生よりご講演いただきました。参加者の皆様も先生方の話に熱心に耳を傾けておられ、学ぶところの多い機会となりました。また、研究発表においては、スライド・ポスターとも例年以上に洗練されたものとなり、それぞれの会場では大勢の方にご参加いただき、大変有意義な意見交換の場となったように思います。これも発表者・研究者、論文指導を担当された先生、座長の皆様のご協力によるところが大きく、深く感謝申し上げます。

プログラムも立て込んでおり、学会委員もスムーズに運営できるか不安がありましたが、看護協会の役員・職員・参加者・施設関係者等の皆様からご協力があり大きなトラブルもなく、最後まで執り行うことができました。心よりお礼申し上げます。

地域包括ケアの実践に 向けた取り組み「月1セミナー」

南魚沼郡市医師会 南魚沼地域在宅医療推進センターコーディネーター 木田洋子

当センターは2017年6月、南魚沼市と湯沢町を擁する南魚沼郡市医師会によって設立されました。始めに手がけた、地域の医療・介護資源把握のためにお会いした関係多職種の人達の話から見えてきたことのひとつが「介護の人は医療の人ともっと繋がりたいと思っている」ということでした。

電話の向こうの相手の顔がわかるというちょっとしたことが話を円滑にすることは誰もが経験することです。医療・介護連携の場でも、今電話で話している看護師との「知り合い感」が持てるようになれば、療養者のための連携がもっと円滑になる。地域包括ケアを語る時に必ず登場する「顔の見える関係」作りの重要性を思い、関係多職種者が集まって共に語り合う場作りに取り組むことにしました。

多職種研修会はどの地域でも取り組んでいますが、私達はその機会を頻繁に持つことの意義を考え、毎月開催することにして「月1セミナー」と名付けました。センター開設1年後、2018年6月～12月、毎月第2火曜日18:30～20:00、会場も固定して月1セミナーが始まりました。仕事を終えた夜の時間、業務ではなく自主的に関心を持つ人が集まる場は、自由意志を尊重したく、あえて申し込み不要としました。

医療・介護共に資源不足の当地において、地域包括ケアシステムを構築することは大変な困難が多々あります。しかし、在宅医療・介護に携わる一人一人の思いや、やり甲斐・喜び・困難時の支えあい等が醸成され、支援

の専門的スキルの向上が見込めれば、個々のケースに対して包括的ケアを提供できる地域になっていけるのではないかと考えます。

少人数であっても、来て下さった人達と一緒にささやかな事例検討や勉強会や意見交換会をし、その積み重ねが私達の地域の包括ケアを進めてくれる。そのための「顔の見える関係作り」の場としての月1セミナーです。

1年目の参加者は延べ218人。2年目の今年度は11月までで268人と増えています。また、2年目は出張セミナーや日中開催の変則も展開してみました。参加者はケアマネ、介護職、福祉職、看護師、行政の保健師・社会福祉士、医師、薬剤師、管理栄養士、さらには薬や医療機器営業マン・消防の救命救急士、看護学校教員他諸々と、多彩な顔ぶれです。テーマも様々で「多職種による事例検討」「病院と介護事業所との連携」「様々な介護事業所の理解」「医療的ケア児の理解」等々をやってきました。

記名式の参加者アンケートでは毎回8割程の方から「多職種での事例検討で視点の変換や視野が広がった」「緩い雰囲気の中で自由な発言ができて楽しい時間」「参加すると元気が出る」「病気の勉強会も持ちたい」等の感想や意見が寄せられ、これが主催側の励みになっています。

具体的な成果というのが見えにくい取り組みではありますが、続けていくことできっと「見える成果」が生まれるという希望を持ち続けて、3年目に繋いでいきます。



ファシリテーターに秋山正子氏をお迎えして

自分自身が喜びを感じる生活

先日、ケアマネジャーさんからこんな話を聞きました。「利用者さん、更新の要介護認定が非該当（自立）になってとても喜んでおられた。」とのことでした。当初、足の痛みで歩けず、脊柱管狭窄症の手術をした87歳の女性が、自立になり、地域支援事業を卒業されたということで、ご本人に会う機会がありました。病院では歩くのがフラフラし、家に帰っても外に出て歩けるか自信がなかった、動けないことが切なかった、と話す女性は、要介護認定を受け、地域支援事業である筋力アップ教室に1年間通いました。当時は、「家では掃除は膝をつきながら行い、なるべく足や手を使って動きました。」とのことでした。

今では、徒歩片道20分かかっていた受診への道のりは、休まずに歩けるようになりました。「歩いて行くと、いろいろな人に会うことができる。自分がしないとやる人がいない、自分でできることはしようと思っています。」と仰っていました。また、運動を続けていないと足が上がらないことを実感し、地区の集落センターで開催

南魚沼市役所介護保険課包括支援班 包括業務主幹 羽賀葉子

している筋力づくり教室に参加し始めていらっしゃいます。私は、頑張っておられる姿に元気をもらいました。一人ひとりが自分の体の具合に合わせて自立した生活を送ることができる地域づくりが、今、住民の方々の意識や様々な協力で始まっています。これからも一緒に取り組みたいと考えています。



子供たちの成長を見守っています

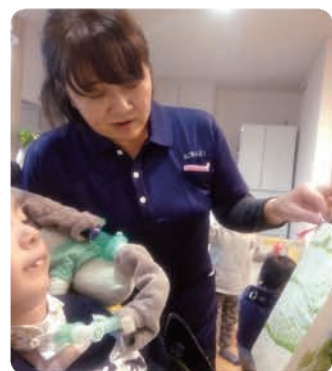
南魚沼市訪問看護ステーション管理者 今井静子

地域包括ケアは、どんな障がいや病気を持っていても住み慣れた地域で暮らすことができる共生社会を支える仕組みとうたっています。その中で訪問看護には、地域の子供たちを見守る役割があると思っています。当ステーションは南魚沼市六日町地区に事業所を置き、南魚沼市民を対象に訪問看護事業を展開しています。平成27～28年の地域医療再編により、市内に魚沼基幹病院が開院したことで、超・準重症児と言われる医療的ケアが必要な小児の訪問依頼が増えました。

魚沼基幹病院からは最初の依頼を受け入れる際に、緊急時の対処法（マスク換気、カニューレ交換、吸引など）小児の栄養、家族関係論（父母への支え）という3回シリーズで、小児科医師が講師となり訪問看護向けに勉強会を開いていただきました。令和1年10月の時点で

の医療ケアとしては、呼吸器・気管切開・吸引・胃ろう・経鼻栄養・HOT・浣腸などなどがあり、その他リハビリ、入浴、親御さんが他の兄弟の行事に参加するときなどのお留守番も行っています。介入の時期は、出生半年から1年間入院し初めて退院する時や、成長過程で病気が分かり気管切開や胃ろう造設を機に開始する場合など様々です。子供たちは日々成長し、保育園入園、小学校就学をしていきます。地域の療育支部会に加入したり、市や県の保健師、学校関係者とも連携することで情報共有を図ることができています。

大きな病気や障がいを持ちながらも成長していく姿を見ることができ、またお母さんやお父さんと一緒に成長を喜ぶことができるのは訪問看護ならではの喜びです。



常任委員会報告

医療・看護安全委員会

医療・看護の安全と推進を目的に、6名の委員で活動しています。具体的には医療安全研修の企画・運営と医療安全管理者の支援活動となります。

研修企画に於いては、県内の様々な場で働く看護職に対し、医療安全の取組強化を念頭に置き研修を計画しています。今年は「安全を守るチームステップス」と題し、チームステップスの概念から、チームパフォーマンスを高めるコミュニケーション術を取り上げました。講義と演習で安全を高めるツールと戦略を、わかりやすく楽しく学べたと好評でした。

安全管理者支援では、「医療安全管理ネットワーク新潟」という交流サイトのサポートを行っています。情報交換と管理者同士の連携が狙いです。さらに、年4回の定例会では、事例分析や学習会を行い

医療・看護安全委員会 委員長 丸山 雅子
(上越地域医療センター病院 医療安全管理者)

知識・スキルの向上を図っています。

委員会は、皆さまのご意見ご要望を伺いながら、ニーズに対応した研修を計画したいと思います。



訪問看護推進委員会

私たち訪問看護推進委員は、各事業所、医療施設等の訪問看護を推進し、質の高い看護が提供できることを目的に活動しています。

主な活動は、新潟県委託事業の「訪問看護実態調査と報告」「訪問看護従事者研修(実践編、管理編)」「在宅看護研修」の企画運営があります。超高齢化・多死社会を背景に、訪問看護師の人材の確保や育成を行政と連携を図り進めています。今年度は、受講対象者の枠を広げ多職種の人に参加できる研修を企画しました。講師陣は、現場の第一線で活躍されている方から大学の教授まで幅広く、最新の知識や技術を学ぶことができます。

他に、新潟県看護協会立「訪問看護ステーションにいがた」で訪問看護が体験できる「訪問看護教育プログラム体験研修」や訪問看護認定看護師が出張して育成支援を行う「訪問看護サポート研修」、精神科訪問看護療養費算定要件を満たす「精神科訪問看護研修」、在宅医療に係る地域の

訪問看護推進委員会 委員長 古畑 まり子
(見附市立病院副看護部長)

課題や対策について行政や医療関係者が協議する「訪問看護推進協議会」など多くの活動を行っています。

メンバーは、病院・訪問看護関係者で構成されたチームワークの良い委員会です。今後も日本看護協会が目指す「訪問看護師倍増」を目標に積極的に活動を行っていきたいと思います。



看護職の労働安全衛生

“ヘルシーワークプレイス〔健康で安全な職場〕を目指して”

看護職が生涯を通じて健康に働き続けるために

日本看護協会では、「看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドライン」を作成しました。今回は、概要を簡潔にご紹介いたします。是非ガイドラインをご覧ください。

定義

「ヘルシーワークプレイス(安全で健康な職場)」とは、看護職として人権が保護(尊重)されることを基本に

- 一人ひとりが安全で健康に自分らしく働きながら自己実現していくことができる職場
- 組織が職員を業務上の危険から守り、一人ひとりの健康支援に取り組む職場
- 職員と組織の活力を生み出すことで、患者(利用者)へのケアの質が向上し、社会への貢献を目指す職場

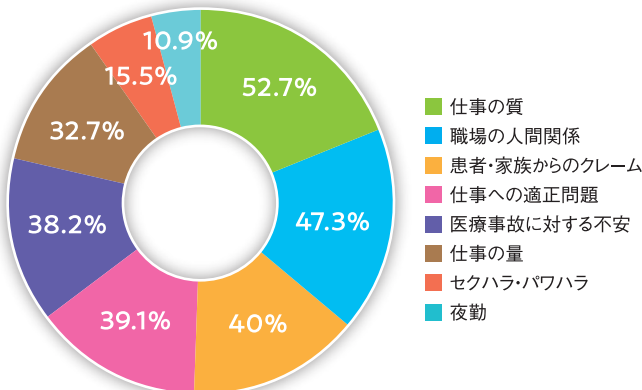


目的

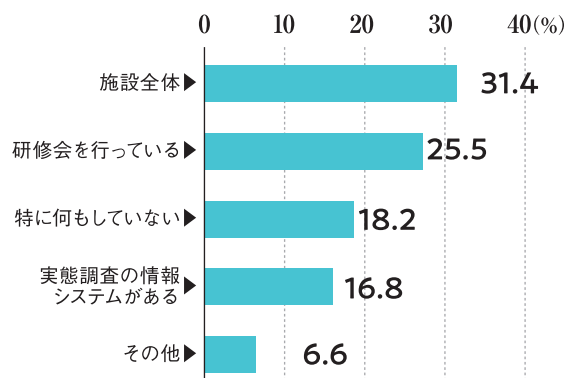
- ① 看護職を取り巻く労働安全衛生の基本的な考え方や対策を示し、看護職が働く組織の取組や看護実践(ケア)の質向上に寄与する。
- ② 看護職を取り巻く業務上の危険(要因)の予防と対応策について理解を深め、実践する。
- ③ 看護職一人ひとりの「健康づくり」の増進、予防、治療と職業生活との両立について理解を深め、実践する。

公益社団法人新潟県看護協会 労働環境改善推進委員会 実態調査結果

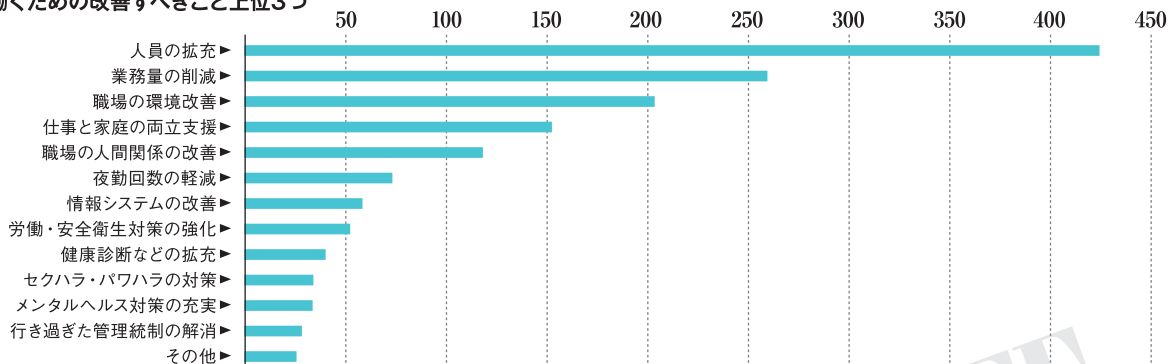
●仕事上にストレスを強く感じる上位3つ



●セクハラ・パワハラの職場対処方法 (複数回答可) N=137



●健康で働くための改善すべきこと上位3つ



2018年9月1日～30日※対象:新潟県内病院110施設(看護管理者(上段)及びスタッフ533人(下段))回収率86%

結果

管理者は、仕事上のストレスを強く感じる上位に、「仕事の質、職場の人間関係、患者・家族からのクレーム」を挙げている。セクハラ・パワハラの対処方法では、組織全体で実施している。

スタッフの回答では、「健康で働くための改善すべきこと」に上位3つは、「人員の拡充・業務量の削減・職場環境改善」を挙げている。

ナースセンター からのお知らせ



■届出対象者■

- ◆病院等を離職する看護職
(病院等とは、病院、診療所、助産所、訪問看護事業所、介護老人保健施設が含まれます)
- ◆保健師、助産師、看護師、准看護師の業に従事しなくなった場合
- ◆免許取得後、ただちに就業しない場合
- ◆看護職の資格をおもちで看護職以外の仕事に就いている方

離職時等の届出制度

「看護師等人材確保の促進に関する法律」の改正により、離職時等に保健師・助産師・看護師・准看護師の免許保持者がナースセンターへ自身の情報を届出することが**努力義務**となりました。

看護師等の届出サイト

とどけるん



todokerun

就業した、住所が変わった、名前が変わったなど変更があった場合は、変更登録が必要です。

新潟県ナースセンターは、就職相談や再就職支援セミナーなど、届出された看護職の方のライフサイクルにあわせて、きめ細やかな支援を行います。



来月辞める予定なのですが…

Q&A

Q1 今の病院は来月辞める予定なのですが、次の就職先の病院は決まっています。その場合も届け出なければいけないのでしょうか？

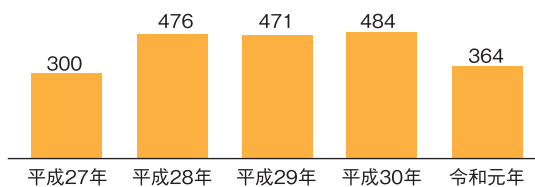
A 法律上、「病院等を離職した場合」に届け出ることとされていますので、次の就職先が決まっている場合であっても、届出の対象となります。その場合、届出内容の「就業に関する状況」において「就業中・就業予定（看護師等）」として届け出いただくこととなります。

看護職員のみなさまへ

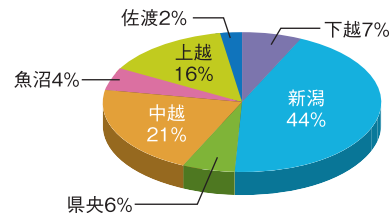
「とどけるん」は、個人でインターネット経由した届出をすることを原則としています。届出したあとは、離職した看護職が「またいつか働きたい!」をナースセンターがサポートします。

届け出た内容はあなたの情報です。届出内容に変更があるときは、ナースセンターに連絡をお願いします。

届出登録者推移(人)



医療圏域別登録者(%)



●新潟県ナースセンターへの届出総数は2,061人 令和元年12月末現在(登録後、他県への出入りで変動あり)

新潟県ナースセンターって… 看護職員のための無料職業紹介所です

お近くのナースセンター
長岡支所・上越支所・南魚沼相談窓口・柏崎相談窓口まで

定年退職後に働く場所ってあるかしら…

転職・進学したいけど…



親身になって相談に応じます。

「ナースシップ」よりお知らせ

＊2020年度の入会の手続きはお済みですか？

新年度の研修受講をご希望の方は、申込締め切り時点で入会手続きを完了していない場合は非会員の受講料となります。登録には入会申込書の提出後2か月程かかりますので、早めの手続きをお願いいたします。会費納入の状況は会員専用ページ「キャリアース」ならび「施設WEB」で出来ます。

キャリアースに
ご登録ください！

登録は
日本看護協会・新潟県看護協会
HPのこのボタンから

会員専用ページ
キャリアース



＊キャリアースに登録すると…

- ①登録内容の確認や変更ができます。
- ②資料室がご利用いただけます。
- ③研修会受講履歴の確認や証明書の発行も可能です。
- ④スマートフォンで電子会員証を表示できます。

＊登録内容に変更はありませんか？

登録内容に変更があった場合は、下記のいずれかの方法で届出をお願いします。

- ①キャリアースから変更する。
- ②「会員データ変更届」（新潟県看護協会HPよりダウンロード可）を新潟県看護協会へ郵送またはメール、FAXする。
- ③所属変更により会費納入方法が口座振替になる方は、「都道府県看護協会・日本看護協会入会申込書/会員情報変更届」または「キャリアース」より口座情報の登録をお願いします。

思春期保健相談士を目指すあなたを 新潟県看護協会が応援します！

新潟県看護協会では思春期電話相談員の増員に向けて日本家族計画協会が主催する「思春期保健セミナー」の研修受講を支援します。

対象者

- ①新潟県看護協会会員であること
- ②思春期保健相談士の資格認定後に新潟県看護協会の思春期電話相談員として活動していただける方

負担額

3万円、お申込順で年度あたり2名まで本協会が負担します。

【お問い合わせ】 研修や申込等に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。
公益社団法人 新潟県看護協会 電話025-265-1225





令和2年度 訪問看護関連研修

① 精神科訪問看護研修会(精神科訪問看護基本療養費算定要件となる研修)

- 日 時:4月10日(金)・11日(土)・12日(日)3日間:20時間
- 対象者:新潟県内の訪問看護に従事する看護職・作業療法士で3日間の受講可能な方

② 訪問看護従事者研修会(実践編)スキルアップコース

- 期 間:4月～10月/12回コース(在宅薬剤管理、栄養管理、在宅小児看護等)
- 対象者:新潟県内で訪問看護に従事する看護職

③ 訪問看護従事者研修会(管理編)キャリアアップコース

- 期 間:8月～12月/6回コース(経営管理、人的資源活用論、リーダーシップ論等)
- 対象者:新潟県内で訪問看護管理者に携わる方、これから従事する方

④ 在宅看護(退院支援)研修会

- 期 間:10月～12月/4回+訪問看護ステーション実習2日間コース
(退院支援、在宅医療の実際、在宅療養支援等)
- 対象者:県内で退院支援に関わる看護職の方、訪問看護の実際を学びたい方

※②～④の公開講座は他職種の方も受講できます。 ※各研修の詳細についてはHPをご覧ください。

教育研修 4月開催

- ①BLS(一次心肺蘇生)コース研修……………4月19日(日) 9:30～16:30
- ②看護の将来ビジョン医療政策……………4月22日(水) 13:30～16:30

ご注意!! 申込期間:4月と5月研修の申込期間は3/16～3/31です。

2020年度 認定看護管理者教育課程 ファーストレベル・セカンドレベル

セカンドレベル 5月22日(金)▶7月21日(火)●募集期間:2月18日(水)～3月17日(火)

ファーストレベル 7月30日(木)▶10月13日(火)●募集期間:3月9日(月)～4月7日(火)

※詳細についてはHP参照してください。

2019年9月～12月 新刊図書

1	認知症 plus 回想法 鈴木正典 編/日本看護協会出版会
2	認知症 plus 院内ケア 旭 俊臣・坂本昌子・賀曾利 裕 編集/日本看護協会出版会
3	看護に活かす基準・指針・ガイドライン集25019 公益社団法人日本看護協会 編/日本看護協会出版会
4	フロレンス・ナイティンゲール 看護覚え書き 本当の看護とそうでない看護 児玉香津子・尾田葉子 訳/日本看護協会出版会

5	無痛分娩と日本人 田辺いけい子 執筆/日本看護協会出版会
6	病院と地域を”看護”がつなぐナースだからこそできること 角田直枝 編集/日本看護協会出版会
7	子供を虐待から護る 上野昌江 編集/日本看護協会出版会
8	令和元年版 看護白書 公益社団法人日本看護協会 編/日本看護協会出版会
9	看護場面の再構成 宮本眞巳 著/日本看護協会出版会

10	家族看護学 理論と実践 第5版 鈴木和子・渡辺裕子・佐藤律子 著/日本看護協会出版会
11	産業看護学 第2版 2020年版 河野啓子 著/日本看護協会出版会
12	[新版]保健師業務要覧 第4版 2020年版 井伊久美子・勝又浜子・森永裕美子・荒木田美香子 坂本真理子・村嶋幸代 編/日本看護協会出版会
13	Gift-物語るケア 編集/井部俊子・協力/いいね♡看護研究会/日本看護協会出版会
14	認知症plus退院支援 一般病棟ナースのためのQ&A 編集/深堀浩樹・酒井郁子・戸村ひかり・山川みやえ/日本看護協会出版会

■発行:公益社団法人 新潟県看護協会
新潟市中央区川岸町2-11 TEL025-233-6550 FAX025-266-1199

<https://www.niigata-kango.com/>

■編集:広報委員会



今年度も多くの皆様にご協力いただきまして、大変ありがとうございました。

今後も皆様のお役に立てるように情報をお伝えしていけるよう、委員会一同努力して参ります。

広報委員: 柚/馬場/木本/加藤/石山/神田 koho@niigata-kango.com